

# 佐渡税務署長賞

## 「みんなが幸せに生きるため」

佐渡市立畑野中学校 3年 椿 彩矢

子どもでも、お菓子やジュースを買う時には、消費税を払っている。私は、今まで当たり前払ってきた、その税金の使い道なんて考えたこともなかった。ニュースを見ると、「消費税が10パーセントに引き上げられて、高くて困る。」などと報道されていて、税金には少し悪いイメージを持っていた。だが、税についての作文を書くにあたって、「税金って何に使われているんだろう。」と疑問を持つようになった。

そこで、税金の使い道について調べてみると、ほとんどが私たちの健康や生活を守るための社会保障費に使われていると分かった。例えば、学校で使っている教科書が無償で配布されたり、健康診断や予防接種を受けたりするなど、身近なことも、税金によってまかなわれている。他にも、道路の整備やごみ処理、救急車の出動、年金、除雪など、様々な公共サービスのために税金は活用されている。

このようなことを知って、税金のおかげで私たちの生活は成り立っているのだなと思った。税金には少し悪いイメージを持っていたが、税金を払うことは、私たちが安心・安全に暮らすために不可欠だと思った。もし、税金がなかったら、町はごみだらけになってしまうし、具合が悪くなくても救急車を呼べないということが起こってしまう。それは、とても大変なことだ。

さらに調べてみると、デンマークは消費税が25パーセントだということを知った。日本は他の国々に比べると低い方だと知り、驚いた。デンマークでは、消費税が高い分、教育費は幼稚園から大学まで無料、医療費はどんなに高い治療費がかかっても全て無料だ。消費税が高いため、負担は大きいですが、教育や医療などが充実しているという良い点がある。

今まで何気なく払ってきた消費税も、自分の身近なところで、様々なことに役立っていると分かった。今、当たり前でできていることも、消費税がなかったら、できないんだと痛感した。ニュースでは、税金が高くて困るなどという悪い点ではなく、税金を払うことで、私たちの暮らしは保障されているという良い情報を発信すれば良いと思う。そうすれば、税金がなかったら困ることが実感でき、税金を払うことは大切なことだと考える人が増えると思う。一人一人が税金の使い道や税金を払う意味などを正しく理解することも必要だ。

大人になったら、たくさんの種類の税金を払うことになる。なので、その時には、「みんなが幸せに生きるため。」と考えながら税金を納めたい。